

令和4年度 5月全校集会

令和4年5月26日

【待ち遠しい宿泊行事】

今週末の5月29日(日)には、1年生が淡路島へ出発します。2年生は6月2日(木)から琵琶湖へ、3年生は6月9日(木)から広島方面へ修学旅行に出発します。4月から各担当に分かれて準備を重ねてきた成果が宿泊行事で発揮されますが、学年全体でどこかへ泊りに行くことは、今後あまりないと思います。学級単位や大学のクラブ活動ではありますが、集団生活を共に過ごし、協力して何かを成し遂げることは、将来、社会人になった時にとっても役立つことになるでしょう。誰かが困っている時に助けてあげる。助けてもらった人は、悪い気はしないと思います。一人でできないことが力を貸してもらって成し遂げた時の充実感は、中学生の時が一番印象に残るのではないかと自分の経験からそう思います。

全員が楽しく良かったなと思える宿泊行事を、まずは自分から率先して取り組んで行きましょう。

【みなさん考えてください】

学校では多くの人が集まり集団生活をしています。家族の中でもそれぞれ小さいながらも集団生活をしています。では、家族とはどういう意味を持っているのでしょうか。

毎日、学校にお弁当を持ってきている人がいます。中には学校給食を頼んでいる人もいます。2年生の人は去年、お弁当コンクールをしたので、お弁当の大切さはよくわかっているはずですが。皆さんの何人かは、毎日自分でお弁当を作っている人もいるのではないですか。作るのは大変ですね、そして毎日続けることはもっと大変ですね。

ある知り合いの人は、毎日、朝5時に起きて子どものお弁当を作っておられるそうです。どんなに遅く帰ってきても次の日には、5時に起きてお弁当を作っています。作り終えた後は、身支度をして6時半には職場へ向かわれるそうです。私は、そのことを聞くまではその人の家庭の様子はわかりませんでした。聞いたからこそわかることで、お弁当が要らないのであれば、あと1時間は布団の中ですやすやできるのかもしれませんが。

皆さんの周りには、自分の知らないところで、頑張っている人はいませんか。直接助けてあげることはないかもしれませんが、相手に対して気を使ってあげる。気持ちを楽しませてあげることができるのではないですか。誰一人取り残さない楽しいクラス。みんなで楽しむことができる学年。毎日楽しく学校に行くことができる長野中学校。そんな学校をみんなの力で作り上げ、続けていきましょう。待っている、何も解決しません。皆さんの積極的な行動力に期待しています。

一つ気になることがあります。あまり使いたくない言葉ですが、「いじる」という言葉を聞くことがあります。「あの子は静かだから」「全然怒らないから」「何でも言うことを聞いてくれるから」と、相手の反応がどうであれ、心ない言葉かけによって傷つけない人はいません。学校を良くしていくためにも、相手の気持ちをおもんばかって、ほしいと思います。